

実践・森づくり技術講座（第1回）

【実施日】2020年7月18日（土）

【実施場所】鳩ノ巣フィールド（奥多摩町棚沢）

【主催者】FIT 森林塾

【一文紹介】

森づくりに欠かせない様々な技術を基礎から学ぶ全5回の連続講座の第1回目。
今年度はじめてとなる講座を7月18日に実施しました。

【公開記事】

今年度はじめてとなる実践・森づくり技術講座は、新型コロナウイルス感染予防対策を考慮し実施しました。

受付時の3密防止として1人ずつ検温・「感染防止チェックリスト」提出の協力を依頼しました。
また、梅雨が明けきらない中での講座のため、棚沢コミュニティセンターの会場を使い、開講式並びに、自己紹介を行い講座開始です。

鳩ノ巣の山々の様子を見据え、フィールドまでの道のり案内と、配布資料（ルートマップ）使い、川の対岸から遠目に見ながらフィールドの説明（針葉・広葉樹林エリア、危険エリア、砂防ダム造成地、薬師堂など）を行いました。

説明が終わろうとした時、再び梅雨空に！！

講師、受講生は棚沢コミュニティセンターへ戻り、座学へ講座は変わります。

座学のはじめは、鳩ノ巣フィールドの概要から活動の基本的な考え方、これまでの活動の経緯などの説明です。

続いて、フィールド内での作業服装・装備・注意事項の説明をしながら、講師自ら作業服装・装備し視覚で確認することができました。

午前中最後は、「安全管理について」の座学を行い昼食となりました。

午後外の様子は好転する様子がなく安全管理を優先し、棚沢コミュニティセンターでの実習「手もとロープ作成」としました。

全員が実習時間内に手もとロープを作成することができ、皆さんホッとひと安心！！

様子は3密を避けるため、手もとロープ作成資料を見、お手本は距離を取っている講師の手元を確認しつつの作成でした。

その後は、本日最後となる「ロープの種類と使用方法及び基本の結び方」の座学を行い、技術講座の閉講式後、終わりとなりました。

講座では、新型コロナウイルス感染予防対策を十分理解・実施した上での参加を依頼しました。

受講生の皆さんから、以下のお話が聞けました。

- ・ロープづくりができ、次回の講習で使えるのがうれしい
- ・すべてに対し初めてのことで、楽しく学べた
- ・安全に対する考え方などフィールドに入る前に学ぶべきものは多い

【スタッフ】講師：牧田、関 事務局：得能、芝原

【参加者】受講生5名：有山さん、久保さん、中林さん、古谷さん、星野さん

【報告者】芝原 久（H30）

【報告写真】6枚



① 今年度はじめての開講式



② フィールドまでの道案内



③ フィールドの説明



④ 作業の服装・装備後



⑤ 手もとロープ作成



⑥ ロープの種類と使用方法及び基本の結び方